

SYMPOSIUM
主権 03 九州大学G-COE「新炭素資源学」・JCOAL公開講座
～私たちの未来を支えるエネルギーと生活を考えよう～

- 【講演】小寺山 亘(九州大学 応用力学研究所 特任教授) "海洋と地球環境・エネルギー資源"
 柿本 浩一(九州大学大学院 応用力学研究所 教授) "自然エネルギーとの協働作業:太陽電池の今と将来"
 松本 広重(九州大学 稲盛フロンティア研究センター 教授) "水素エネルギーとその利用技術"
 佐藤 孝志(新日本製鐵(株) 八幡製鉄所 生産技術部) "鉄鋼業の石炭有効利用について"
 後藤 秀樹(電源開発(株) 技術開発センター 若松研究所 所長) "温暖化ガスを極力発生しない石炭火力発電～石炭ガス化複合発電"
 守屋 猛(資源エネルギー庁石炭課 国際石炭分析官) "石炭政策:日本のエネルギー政策と石炭の未来"
 【特別講演】原田 利一郎((株)千鳥屋本家 会長) "お菓子の歴史と石炭の歴史のよもやま話"
 【セミナー】東嶋 和子(科学ジャーナリスト、筑波大学非常勤講師) "ご存じですか?石炭の真実"
 岩切 俊一(九州経済産業局 資源エネルギー環境部 部長) "日本経済と九州の石炭"
 伊崎 数博(九州電力(株) 火力発電本部 火力部長) "私達の暮らしをささえる石炭"
 佐藤 孝志(新日本製鐵(株) 八幡製鉄所 生産技術部) "鉄鋼業を支える石炭"
 中川 茂(西日本新聞社 報道センター本部長) "ニュースの中のエネルギーと石炭"
 石窪 奈穂美(消費者生活アドバイザー、鹿児島大学非常勤講師) "消費者生活と石炭"
 野口 徹(福岡市博物館 事業管理部長) "学校教育の中の石炭"

平成21年11月1日、九州大学筑紫キャンパスにて、九州大学グローバルCOE「新炭素資源学」・JCOAL公開講座が開催されました。

午前の第一部の講演会では、九州大学グローバルCOE「新炭素資源学」拠点リーダーの永島英夫教授(先導物質化学研究所)と、九州経済産業局の橋高公久氏による開会挨拶の後、オープニングとして、小寺山亘特任教授(東アジア環境研究機構)から地球環境・エネルギー資源問題における海洋の重要性について紹介がありました。

次に、未来のエネルギー資源に関する展

望として、柿本浩一教授(応用力学研究所)からは太陽電池の今と将来について、松本広重教授(稲盛フロンティア研究センター)からは水素エネルギーとその利用技術について説明がありました。その後、千鳥屋本家会長の原田利一郎氏による、お菓子と石炭産業との意外なつながりというユニークなテーマに関する特別講演がありました。

続いて、「私たちの知らない石炭のすがた・その未来」をテーマに、コーディネーターの東嶋和子氏(サイエンスジャーナリスト)と6人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

最後に、石炭エネルギーセンター理事長の並木徹氏の挨拶により、セミナーは盛会のうちに終了しました。

この日、公開講座会場となった筑紫キャンパスでは、一部研究室の公開も行われました。また、電気自動車などの展示や、化学実験教室など、子供達も楽しめるようなイベントが終日開催されました。

▼応用力学研究所 柿本浩一教授



1	2	3
4	5	6
		8
9		

1. 拠点リーダー 永島英夫教授
2. 九州経済産業局 橋高公久氏
3. 東アジア環境研究機構 小寺山亘特任教授
4. 千鳥屋本家会長 原田利一郎氏 (特別講演)
5. 稲盛フロンティア研究センター 松本広重教授
6. 電源開発株式会社 後藤秀樹氏
7. 新日本製鐵株式会社 佐藤孝志氏
8. 資源エネルギー庁石炭課 国際石炭分析官 守屋 猛氏
9. パネルディスカッションの様子